

令和5年（2023年）1月17日（火）  
豊中市第二庁舎3階大会議室  
午前9時30分～10時30分

## 令和4年度（2022年度）第3回 豊中市総合教育会議

### 次 第

#### 1 開会

○市長あいさつ

#### 2 出席者の紹介

#### 3 案 件

- (1) 今後の豊中市立図書館について
- (2) 不登校支援の取組みについて

#### 配付資料

- |                                |     |
|--------------------------------|-----|
| ○ 総合教育会議名簿                     | 資料1 |
| ○ 今後の豊中市立図書館について               | 資料2 |
| ○ 不登校支援の取組みから不登校支援施策推進への移行について | 資料3 |
| ○ ステップルームスタッフの今後のスケジュールと役割     | 資料4 |

## 令和4年度(2022年度)第3回 総合教育会議名簿

※敬称略

長内 繁樹	豊中市長
岩元 義継	豊中市教育長
山野 佳世子	豊中市教育委員会委員 (教育長職務代理者)
赤尾 勝己	豊中市教育委員会委員
松本 裕美	豊中市教育委員会委員
堀田 博史	豊中市教育委員会委員
黒田 久美子	豊中市教育委員会委員

(事務局)

榎本 弘志	都市経営部長
森田 宏人	都市経営部次長
坂本 篤史	都市経営部 経営計画課
久木 耕治	都市経営部 経営計画課
田上 淳也	都市経営部 経営計画課
松村 有	都市経営部 経営計画課
定光 絵里	都市経営部 経営計画課

基本政策（平成 30（2018）年度～令和 3（2021）年度）

「教育文化先進都市とよなか」の政策項目

★中央図書館構想の策定

基本政策（令和 4（2022）年度～令和 7（2025）年度）

「子ども・教育（健やかに育ち、楽しく学ぶことができるまち とよなか）」の政策項目

★図書館サービスの充実

（仮称）中央図書館基本構想（令和 3 年 2 月策定）

豊中市立図書館みらいプラン（令和 4 年度策定予定）

## 《基本コンセプト》

### 「つながる 私の図書館で」

知や情報、本と人をつなげる。人と人、地域や組織がつながる。過去と今、そして未来をつなぐ。つながることで新しい可能性をひらき、暮らしをより豊かにする。そして、明日のとよなかへつながる種をまく。誰もが、自分なりに使い、楽しみ、つながる図書館へ。すべての人の「わたしの図書館」であることをめざします。

## 《基本方針》

### ◎図書館の多様な利用を提案

- ・ サービスポイントの設置
- ・ 学校連携、アウトリーチサービス
- ・ 非来館型サービス（電子書籍など）
- ・ 場としての図書館の効果的な活用

### ◎市民の情報アクセスを保障

- ・ 多様な媒体による情報の提供
- ・ 政策課題や地域課題に対応する情報の収集
- ・ 人と人、人と情報をつなぐ担い手の育成

### ◎持続可能な組織を構築

- ・ 計画的な施設の更新改修と再編
- ・ 公民連携、自治体間連携
- ・ ICT の積極的な活用による人員配置

〜〜「人と情報」・「人と人」をつなげる新たな図書館サービスに向けて〜〜

### 筋肉質な施設配置

- ・ 中央図書館による蔵書や事業企画の充実
- ・ サービスポイントの設置による利用しにくかった層へのアプローチ

### 人と情報をつなげる貸出利用の促進

- ・ 電子書籍の拡充と蔵書の充実
- ・ 図書館利用が困難な市民へのアウトリーチサービスの充実
- ・ 動く図書館のステーション配置の見直し
- ・ 図書館サービスのデジタル化

### 行きたくなる図書館づくり

- ・ 中央館、地域館、分館における役割に応じた滞在しやすい環境整備
- ・ 図書館で様々な体験や課題解決が可能となる取組みの推進

推進

新規拡充事業  
の  
実施

人と人をつなぐ今後の取組み

- ◆まちづくり×図書館
  - ・ 司書のファシリテート向上
  - ・ 交流事業
- ◆社会的包摂×図書館
  - ・ 医療セミナーや就労支援

指標  
指標

年間利用者数の増加  
実貸出利用率の上昇

指標

利用者満足度の向上

## 新たなサービス（赤字は中央館供用開始時に向けたサービスの選択肢）

図書館では、日々各年齢層のニーズに応じた資料や情報の収集、提供を行うとともに、日常の疑問や仕事に必要な情報など市民のさまざまな調べもののサポートも行っている。

また、暮らしの課題解決として「医療・健康情報（岡町）」「多文化共生（庄内）」「ビジネス・就労（千里）」「子育て・DV（野畑）」を設定し、資料収集・情報提供に加え、関係部局・機関と連携したセミナーを実施するなどテーマにそった取り組みを行っている。

### ◎子ども読書活動推進の新たな展開

- ◆乳幼児スペースの拡充（岡町・東豊中）
- ◆親子で飲食ができる「もぐもぐ広場」の設置（東豊中）
- ◆一時保育を試行実施（岡町・千里・野畑）

### ◎若年層へのアプローチ

### ◎市民協働と産学公連携の拡充

- ◆ 自学・自習室の設置（野畑）
- ◆ 学びのスタイルを選べる場（ラーニング・コモンズ）
  - ・ 自学・自習、グループ、コミュニケーションの3エリア
  - ・ レファレンス担当司書、ICT サポーター、学習サポーターが常駐
    - レファレンスサービスのニーズ掘り起こし
    - レファレンスルームの活性化
- ◆ 「創る」を楽しみ、掘り下げる場（ファブラボ）
  - ・ 3D プリンターや工具の館内貸出、スペースの提供
  - ・ 個人が気軽に利用できるようサポーターが常駐
- ◆ 館内ショップで図書館関連商品の販売

### ◎アウトリーチサービスの拡充

- ◆職員による宅配サービスの一部を郵送サービスに移行
- ◆ 市民を対象とした有料の宅配サービス

### ◎非接触、非来館型サービスの拡充

### ◎デジタル媒体の拡充

### ◎広域連携の推進

- 電子書籍、電子雑誌も含めたコンテンツの充実
- ◆ 図書館サービスのデジタル化の充実
- ◆ 貸出用タブレットの導入
- ◆ 予約資料の24時間受取

## 不登校支援の取組みから不登校支援施策推進への移行について（概要）

資料 3

### 【これまでの取組み】

- ・不登校を**問題行動**と捉え、学校に登校することをめざした。
- ・平成元年及び平成14年に、施設型教育支援センターとして庄内と千里に少年文化館を開設。

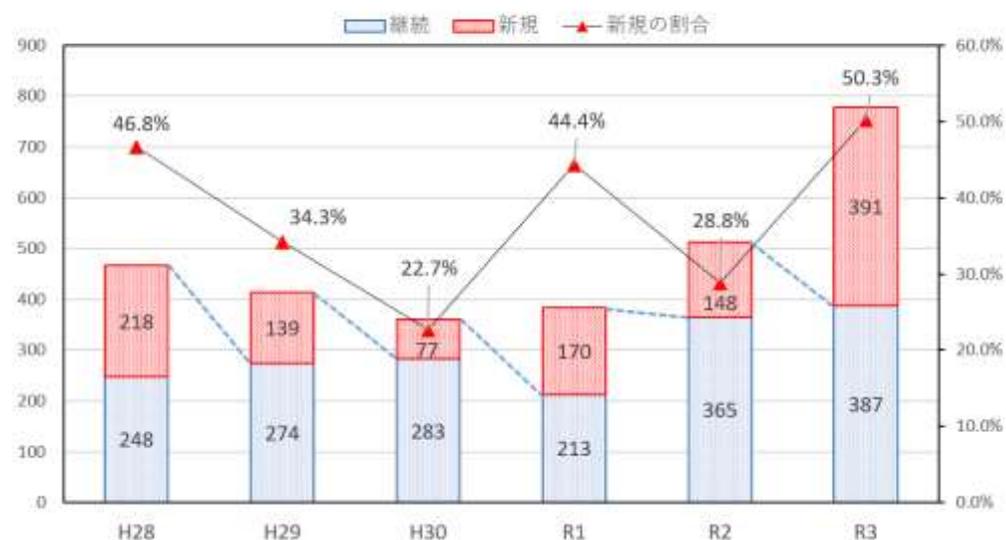
R3年度 不登校者数 小学校 318人 中学校 460人 計778人

援助延人数 登館援助 105人 訪問援助 9人 相談援助 69人 部分登校支援(小) 51人

【図表01】過去6年間の不登校児童生徒数推移（小・中学校別）



【図表02】過去6年間の不登校児童・生徒数推移（継続・新規別）



### 【不登校の現状】・・・図表02

- ・小中学校ともに前年度からの不登校者数を減らすことはできている。
- ・小中学校における不登校者数が減少しない要因は、新規の不登校者数が前年度からの不登校の減少数よりも上回っている。

【不登校の要因】・・・図表 28

2021 年度における不登校の主たる要因は、小中学校ともに「無気力、不安」が最も多く、小学校全体の約 58%、中学校全体の約 63%を占めている。



【不登校支援にかかる国の方向性の転換】

- ・多様で適切な学習活動を重要視し、様々な機関等との連携により「**つながっている**」ことを重視

【根拠となる法令等】

- ◆ 義務教育の段階における普通教育に相当する教育の機会の確保等に関する法律（平成 28 年法律第 105 号）
- ◆ 不登校児童生徒への支援の在り方について（通知） 28 文科初第 770 号 平成 28 年 9 月 14 日
- ◆ 『不登校に関する調査研究協力者会議報告書～今後の不登校児童生徒への学習機会と支援の在り方について～』について（通知）令和 4 年 6 月 10 日

【不登校支援の方向性】・・・図表 08

支援策として、「前年度からの不登校状態の解消に向けた取組み」と「新たに不登校状態を生み出さない取組み」の両輪が必要  
本市では、「前年度からの取組み」は一定機能している。

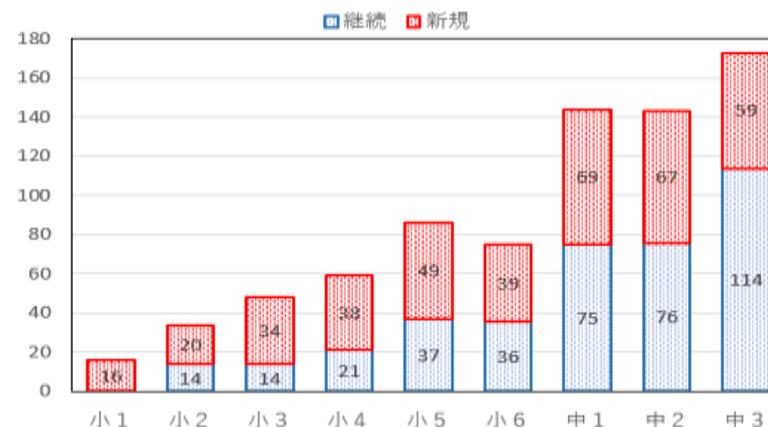
今後は、「新たに不登校状態を生み出さない取組み」について、中学校を優先的に行う。

【図表07】過去6年間の不登校児童生徒数累計（学年別）



【図表08】不登校児童生徒数（学年別）

≪ 令和3年度（2021年度） ≫



【不登校支援施策の柱（案）】

1. 不登校の未然防止（一次予防）

・すべての児童生徒を対象として、登校する意欲や頑張る気力の向上をめざす。

2. 早期把握・早期対応（二次予防）

・SSWを軸にスクリーニングシートの作成・活用による発見、把握、校内居場所づくり

3. 学校以外の学びのつなぎ（三次予防）

・フリースクールとの連携、教育支援センター（いぶき）機能の充実、ICTを活用した学習補充、不登校特例校の設置検討

4. 支援の連携

・相談支援体制の充実（こども・教育総合相談窓口）、要支援・要保護児童生徒のリスク管理、若者総合相談窓口との連携

# 事業見直し

サードプレイス機能  
(会年の常駐ではない  
形やNPOも検討)

目標値達成

## 新規事業(案): ステップルーム(SR)スタッフの今後のスケジュールと役割

